

ひろばの「若い目特集」に2Gの末吉愛吹さんが掲載されました。

家族の笑顔を胸に台所に立つ

薩摩中央高2年

末吉 愛吹

わが家は母と子ども4人の5人家族でとてもにぎやかだ。母は一人で私たちを育ててくれており、朝も昼も夜も働いている。疲れているはずなのに、休日は遊びに連れ出してくれる。

そんな母の姿を見て、自然と家事を分担するようになった。自分たちができることを母のために。料理好きな私は台所担当で、学校から帰ると皿洗いをし、夕食を作る。中学の時、このことを

友人に話すと「かわいそう」と言われて驚いた。

母はいつも「ありがとう」と喜んでくれるし、私が作った夕食を家族みんなが「おいしい」と食べてくれる。その時、私とても幸せな気持ちになる。家族にもっと喜んでもらいたいと思う。でも

友人は、こんな気持ちを味わったことがないのかもしれない、と思った。

料理のレパートリーも増え、段取り上手になった。「きついな」と思う日もあるけれど、苦にはならない。家族にはいつも笑顔でいてほしい。今夜は何を作ろうかなあ。私は今日も台所に立つ。

(さつま町)